発表！

2019年度前期貸出ランキング～文学編～

2019.08.08調べ

	タイトル	著者名	請求記号
1	蜜蜂と遠雷	恩田陸	913.6/O 65
2	コンビニ人間	村田沙耶香	913.6/Mu 59
3	君の膵臓をたべたい	住野よる	913.6/Su 63
4	夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	913.6/Mo 54
4	キケン	有川浩	913.6/A 71
4	新訳ロミオとジュリエット（角川文庫:13843）	シェイクスピア／河合祥一郎訳	932/Sh 12
5	マスカレード・イブ（集英社文庫：ひ-15-11）	東野圭吾	913.6/H 55
5	傘をもたない蟻たちは	加藤シゲアキ	913.6/Ka 86
5	ロミオとジュリエット（ちくま文庫．シェイクスピア全集:2）	シェイクスピア／松岡和子訳	932/Sh 12
5	星の王子さま（岩波少年文庫:001）	サン＝テグジュペリ／内藤濯訳	953/Sa 22

リレーコラム　ブックマークする？

皆さんは本学図書館に図書が何冊あるか知っていますか。なんと88万冊！その蔵書の大半は実は書庫にあるんです。書庫と言ってもあまり馴染みのない方もいるかもしれませんね。

書庫はとても広く、時間の経過したものだけでなく新しい図書もあります。皆さんがよく利用する図書館２階や３階に比べると、時の流れを忘れるぐらい静かで少し寂しい（!?）感じもしますが、慣れると居心地が良くなって癖になるかも。私は心が落ち着く感じがとても好きです。書庫にも机や椅子があるので、図書を探すだけでなく集中して読書や勉強も出来ます。

学生の方は手荷物をロッカーに入れて、スタッフに学生証を渡し、ピンクの札をもらってから書庫に入ってくださいね。

おおはし
（大橋）

編集後記

令和初のBOOKMARK!

すごい速さで流れていく今。皆さんにとってどんな時代であり、今後どんな時代になるでしょうか？

私たちはほんの一瞬の人生で、喜んだり、悲しんだり、勉強したり、恋愛したり。

本との繋がりの中で、自らの経験に空想の物語や、先人の体験をプラスして世界を広げてみると、もしかしたらネット検索では得られない別の答えや、今後の人生で何度も勇気をもらえるフレーズに巡りあうかもしれません。

未来に向かう皆さんにとって、BOOKMARKが少しでもその手助けとなればと願い、今号を編集しました。

発行にあたりご協力をいただきました全ての方に編集担当者を代表して感謝申し上げます。

（長屋）

図書館（２階・３階）開館時間

	授業期	休暇時
平　日	8:45～20:30	9:15～16:30
土曜日	10:00～16:00	休　館
日曜日	10:00～16:00	休　館

表紙モデル：人間環境学部　田島 幹康

発行・編集：広島修道大学図書館　発行日：2019年10月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
TEL：082-830-1112　FAX：082-830-1964
URL：http://www.shudo-u.ac.jp/library/
E-mail：tosho@js.shudo-u.ac.jp

次号は2020年4月1日発行予定です

ここから図書館のホームページへアクセスできます

あなたと図書館をつなぐ情報誌

BOOKMARK

第８号

2019/10/1　［ブックマーク］TAKE FREE

CONTENTS

特集1
2 ここいいね！

特集2
4 もっと知りたい？図書館を支える人たち

連載
6 Kyou は何しに図書館へ？
8 この本にブックマーク！
10 イベントブックマーク
12 教員エッセイ…沼本 秀昭
14 職員エッセイ…森戸 智枝
16 ランキング／リレーコラム／編集後記

＼フェイスブック継続中！／
ShudoLibrary

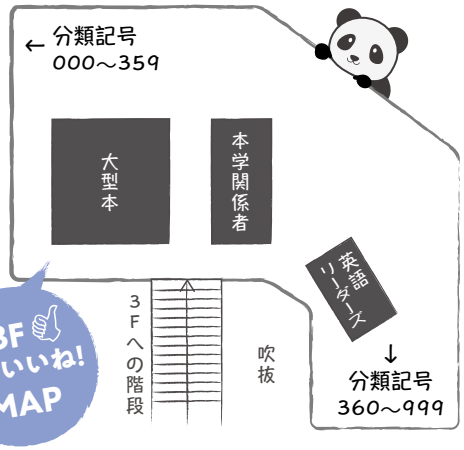
特集 1

ここいいね!

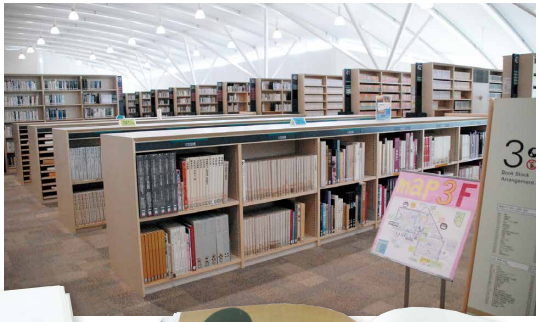
How to use the library facilities

図書館にはプラスの魅力が
いっぱいです。

Best Spot.1
大型本コーナー



3階への階段を上って3階一般図書や研究個室などへ一直線、という人も多いのでは?
今号では、素通りしがちだけど素敵なコーナーを、ご紹介します。
まずは大型本コーナーです。
美術全集、写真集、地図などを置いています。図書を開けばそこは
あなただけの美術館に早変わり!



大型本 開くとまるで美術館

貸出しできる
ものもあります!

Best Spot.2
本学関係者コーナー

次は、
階段を上って右側にある
本学関係者コーナーです。
本学教職員が執筆したり
翻訳したりした図書が並んでいます。
どなたがどんな分野の研究をしているのか、
宝探しができる絶好の場所です!

グローバル人材育成のための
英語ディベート (三上 貴教 著)
請求記号：830.7/Mi 21

地方私立大学の英語教育への
挑戦(大澤 真也 著)
請求記号：830.7/O 97

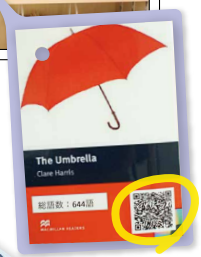
管理栄養士・栄養士の
実践マネジメント(藤井 文子 著)
請求記号：498.14/F 57

ソウルスタイル(朴 大王 著)
請求記号：382.21/B 63

科学技術の現況と
いま必要な倫理(宮坂 和男 著)
請求記号：407/Mi 82

Best Spot.3
英語リーダーズコーナー

多読でおなじみの英語リーダーズコーナー。
QRコードを読み取るとスマホから閲覧できるe-bookも、
ぜひ活用してください。



英語リーダーズを利用した
英語多読マラソンに
ついてはP.11で
紹介しています。

豆知識 今号の豆知識ではBOOKMARK編集担当者7名が自分なりの本の探し方を紹介します☺

好きな作家さんの紹介本や小説に描かれた本は忘れずにメモ!

特集２・ もっと知りたい?図書館を支える人たち～図書館ピア・サポーター編～

図書館ピア・サポーター（通称：図書館ピア）は学生ならではの目線で、利用者サポートやより快適な図書館づくりを目指しています。活動を通した各自の成長にも注目です!

活動サイクル

	個人	グループ
研修	新人ピア研修★　ピア・サポート研修★	
計画	目標シート作成 個人面談★	企画書作成 ピア・ミーティング
活動	フロアサポート	おすすめ本展示 ピア・プロジェクト等
評価	振り返りシート作成 個人面談★	ピア・ミーティング

★担当職員が実施

図書館ピアにインタビュー! ～４つのピア・プロジェクト～

各係の活動や個人の目標・感想を聞いてみました。

イベント係

小林さん（新人）
人文学部３年

「もっと図書館を利用しよう!」「本を読もう!」といった声が上がるキッカケとなるイベントを考えています。ピア活動を通して働きかける力を身につけたいです。積極的に行動し利用者が使いやすい図書館を作ります!

広報係

伊藤くん（新人）
商学部３年

図書館ピアの広報誌「Library Peer Times」は学生目線で伝えることを意識して作っています! 目標はピア活動を通じてコミュニケーション能力の向上を図ることと図書館の魅力をより多くの人に伝えることです。

展示係

岡田くん
健康科学部３年

作品内の印象に残ったフレーズ等に着目した、新しい展示のやり方を模索しています。グループワークが多い為、社会人基礎力が少しずつ身についていっていると思います。今なお成長の途中です。

グッズ係

山本さん
人文学部４年

グッズと館内マップの作成をしています。グッズはピアのオリジナルキャラクターを使用したこだわりのデザインです! 活動を通じて学年や学部の違う人と関わり合えたこと、そして新しい本にたくさん出会えたことが良かったです。

図書館ピアの活動を“ほんの一部”ご紹介します

2019年7月15日から7月19日に図書館ピア・クイズラリーを開催しました。

今後もさまざまなイベントを企画するので、ぜひ参加してみてください。

おすすめ本展示5-7月「新たな出会い」

図書館２階自動貸出機横に図書館ピアのおすすめ本を展示しています。年４回テーマが変わるので、ぜひお立ち寄りください。

次年度図書館ピア募集告知

12月頃に採用説明会を行います。興味のある方はぜひ参加を! 詳細は図書館HPをご覧ください。

図書館職員
門脇さん

図書館ピアのインスタグラム @shudolpeer

格好つけない!読みたいという直感に素直に従います

まずは本のPOPに注目します!「楽しいうんこ漢字ドリル」というPOPは衝撃的でした

連載

Kyou（きょう）は何しに図書館へ？

Q1 所属学部・学年
Q2 ニックネーム
Q3 何しに図書館へ？
Q4 図書館にひとこと

A1 人間環境学部 3年
A2 たっしー
A3 ゼミの課題を提出するために新聞を探しに来ました。
A4 資格取得のために上手に活用しています。

A1 経済科学部 3年
A2 なお
A3 授業の資料作り
A4 広くて静かなのでとても過ごしやすいです。

A1 商学部 3年
A2 りょーちゃん、たろう、りゅうちゃん、ザキ、たいせい、まる
A3 レポート（ES）
A4 静かな空間で勉強しやすいです。

A1 健康科学部 3年
A2 さくたろー
A3 図書館のアルバイトです。
A4 落ち着いた雰囲気の場所です。

A1 国際コミュニティ学部 2年
A2 あみ、しゅうま
A3 友達が来るのを待ちながらカフェでランチ
A4 本だけじゃなくてPC等があって便利です。

A1 法学部 3年
A2 はしもと
A3 ゼミ論文の準備
A4 書庫は楽しいです。

A1 法学部 1年
A2 まなと、れん
A3 畳コーナーでくつろいでいました。
A4 勉強に役立つ場所なので、とてもありがたいです。

A1 商学部 4年
A2 ひとし
A3 SPIの勉強
A4 とても涼しいです。

A1 人文学部 1年
A2 さやか、あやか
A3 修大基礎講座のレポートについて話していました。
A4 図書館にカフェがあるなんてオシャレ

A1 健康科学部 3年
A2 しおちゃん、れいちゃん、りさちゃん
A3 空きコマに小説を読みたいと考えて来ました。
A4 グループ学習室があり、空きコマを利用しやすいです。

A1 経済科学部
A2 河合 伸治 先生
A3 修大基礎講座の授業で来館しました。
A4 皆さん、もっと図書館を利用しましょう!

撮影にご協力いただきました利用者の皆さん、ありがとうございました。次回はあなたに突撃インタビュー♪

本の見せ方、流れるBGM♪ コーヒーの匂い☕ 空間の心地よさも本選びの一つ📖

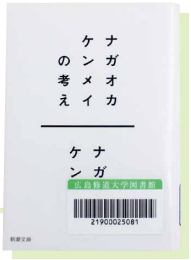
タイトル♡色味（第六感）👀瞳で見て感じる派です

これから社会にでる君へ　人生の先輩から贈る本

一足早く社会人となった広島修道大学職員の皆さんから、これから新社会人として羽ばたく皆さんへ、今読んで欲しい一冊を紹介します。

財務部財務課
中祖 慶紀 さん

『ナガオカケンメイの考え』



ナガオカケンメイ著／新潮社
所在：3階一般図書
請求記号：914.6/N 18
（新潮文庫；8921, な-70-1）

1トピック2-3ページの短編集です。
経営者兼デザイナーである著者の
ビジネス的な視点や思考を気軽に追体験してみましょう！

教学センター教務第2課
阿部 典子 さん

『あした死ぬかもよ？人生最後の日に笑って死ねる27の質問』

ひすいこたろう著／
ディスカヴァー・トゥエンティワン
所在：3階一般図書
請求記号：159/H 76

「死」と向き合うことで、自分の本心に
会いに行きませんか？将来に悩んでいる、人生の岐路に
立っている、そんなあなたに！

教学センター教務第2課
武智 大海 さん

『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』

長谷部誠著／幻冬舎
所在：3階一般図書
請求記号：783.47/H 35

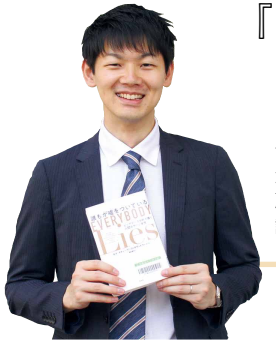
著者である長谷部選手が二度目の
W杯出場した頃に読み、今でも
印象に残っている本です。
物事の考え方、捉え方についてヒントをもらえる一冊。

学生センター学生課
上永 晶子 さん

『ドミノ』

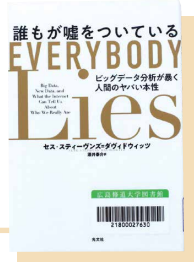
恩田陸著／角川書店
所在：3階一般図書
請求記号：913.6/O 65
（角川文庫；13221）

それぞれの何気ない一日の出来事が
少しずつ重なり合い、ひとつの事件を
巻き起こします。この物語のように
社会にでると様々な人との出会いが待っているかも。



図書館図書課
門脇 直哉 さん

『誰もが嘘をついている ビッグデータ分析が暴く人間のヤバい本性』



セス・スティーヴンズ＝ダヴィドウィッツ著、
酒井泰介訳／光文社
所在：3階一般図書
請求記号：007.3/St 5

刺激的なタイトルですが、豊富な
事例からデータとの向き合い方を学べます。あらゆる分野で
データの活用が求められる今、お薦めの一冊です。

教学センター教務第3課
原田 侑季 さん

『ディズニー おもてなしの神様が教えてくれたこと』

鎌田洋著／SBクリエイティブ
所在：3階一般図書
請求記号：689.3/Ka 31

働くってどういうことだろう、と
考えさせられる本です。
私自身も学生時代にこの本に出会いすっかり虜になりました。
是非読んでみてください！

本の帯にもぜひ注目してほしいです！思わず手に取りたくなる工夫がいっぱい♪

友達からおすすめの本を教えてもらうのも読書の幅が広がってGOOD！

何を読む？迷ったときは展示コーナーへ

２階展示コーナー

11/28㈭まで展示中

大学生活に＋α ～挑戦・体感・旅・癒し～

わくわくしたり、挑戦したり、心温まったり、大学生活をもっと充実させるためのおすすめ本を集めました。手に取りやすいように表紙を見せて展示していますよ。

ミニ展示コーナー

本学教員の著書（～8月）

2018年度の大学広報誌「Truth」に掲載された本です。本を通して教員の研究についてより深く知ることができます。

万葉集関連図書（～5月）

新元号“令和”の由来で話題になった万葉集に関連する本を集めました。日本の古典に触れ、その時代に思いをはせるよい機会となりました。

LSCドキュメンタリーアワー

学習支援センターが主催するLSCドキュメンタリーアワーのテーマに沿った本の展示です。本とあわせて活用することで、新たな発見があるかもしれません。

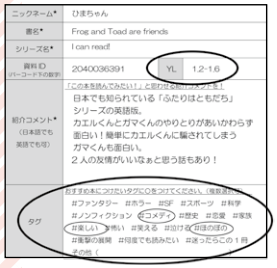
キャッシュレス時代、日本のお金の未来像は？（～6月）

人工知能技術の発展を「埋め込み」と競争から考える（～8月）

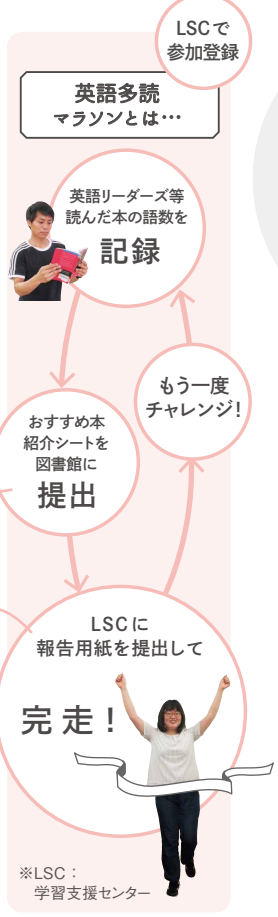
４年間で目指せ 421,950 語！

「英語多読マラソン」スタート！

おすすめ本紹介シートがリニューアルしました！



“YL”と“タグ”が追加されました。“YL”とは、本の読みやすさのレベルを表しています。“タグ”を見ると、本の内容がイメージしやすいですよ。紹介されたおすすめ本の展示も行っています。ぜひコメント、YL、タグを参考に自分にあった本を選んでみてくださいね。



「英語多読マラソン」表彰式

2019年6月24日に「英語多読マラソン」表彰式が開催されました。426,767語を達成した沖原万柚子さん（人文学部）に完走証が授与されました。

語数を記録していくので、自分の頑張りが数字で目に見えて楽しかったです。
読み続けていると、単語の意味がわからなくても経験から前後の文脈で想像することに慣れてきます。速く読めるようになりますよ。

（沖原さんは２回目のマラソンに挑戦中です!）

浅野氏広島城入城400年関連事業

告知

広島県が行っている「浅野氏広島城入城400年記念事業」の一環として、図書館では展示と講演会を行います。
講演会終了後、希望者には展示ギャラリーと図書館内のミニ展示をご案内します。

展　示「広島藩藩校ゆかりの人々と書物」
期　間：2019年10月9日㈬から11月7日㈭まで
場　所：図書館M2階展示ギャラリー

講演会「浅野氏と修道
ー藩校の精神はどのように継承されたのかー」
日　時：2019年10月26日㈯午前10時から
会　場：図書館ライブラリーホール（予定）
講　師：畠　眞實（はた まこと）氏
（元修道中学校・修道高等学校校長）

ミニ展示
「浅野氏広島城入城400年関連展示」

もう一つの魅力

人文学部
沼本（ぬまもと） 秀昭（ひであき）

静かに佇む2体の菩薩像。寒色から暖色まで幅広い色彩を繊細に巧みに使いこなして描かれたその仏像の絵は、不思議な魅力につつまれている。立体感が在るようで無く、幻の姿のようでありながらも存在感を感じる。それは色彩と油絵具特有のマチエールの効果だと考える。この作品は影の色を暗い色としてではなく、鮮やかな色味としてとらえている。また豚毛の筆やペインティングナイフを用いて絵具の様々な重なりを作り出し、表情豊かな絵肌を生み出している。その魅力ある作品は図書館3階のサブカウンターの側にあった。武永槙雄の『菩薩立像』である。

広島修道大学に赴任し、図書館で思いかけず武永先生の作品に出合えたことは大変な喜びであった。

私が絵の道に進むきっかけとなった武永先生との出会いは、小学生の時である。同郷であり、先生は写生大会に毎年指導と審査に来られていた。校内にも数多くの絵が飾られていた。小学生の私にとって、先生の描写力は驚きであった。また画家という職業を知り、あこがれの存在となった。先生に近づきたい思いから手紙を書いた。そこから先生が亡くなるまで文通は続いた。当時60代の先生は、日本有数の総合美術展である日展の審査員を務め、広島市長を通してローマ法王へ作品を送られるなど中国地方を代表する洋画家であった。後に、広島文化賞、中国文化賞も受賞される。多忙な中でも先生は小学生の私に毎回丁寧な返事を書いてくれた。武永先生の人柄が偲ばれる。

成長するにつれ、私は次第に武永先生の制作に対する精神性に触れていく。先生の主な作品は仏画であった。

武永槙雄作『菩薩立像』の前にて（図書館3階 大型本コーナー前）

それは戦争体験が大きく影響している。戦争への想いを直接的な表現で描くことはできないと、その想いを仏画に込められたのだ。供養としての制作でもあったといえる。先生が亡くなるまで、その画風は揺れ動くことは無かった。そこには、画家として描きたい、描かねばならぬという強い精神性や生き様が存在した。芸術を専門的に勉強していく中で、武永先生の画業の偉大さを益々実感した。それは今現在も変わることはない。

優れた絵画には画家の純粋で強く美しい思想や哲学がある。確かな絵画的技術がある。そしてその魅力は時を経ても衰えることはない。また、作品は視る者の経験や心情によって、同じ作品でも様々な事を語り掛けてくる。それは優れた文学作品も同じではないだろうか。

図書館には武永先生の作品の他にも、武永先生と同時代に同じく日展を中心に活躍され、本学で教鞭を取られた岡崎勇次先生の『北の岬』など様々な作品が飾られている。

第20回日本図書館協会建築賞を受賞するなど本学の図書館は建築、蔵書数、館内サービスなど多くの魅力がある。その大きな魅力の一つに美術作品の充実も付け加えたい。

読書の合間に、ぜひ絵画鑑賞も楽しんでほしい。

図書館は“いきもの”？

図書館
森戸 智枝（もりと ともえ）

「図書館学の五法則」が記された白いサイン（図書館前）

本年4月から再び図書館業務に就いている。約10年前の図書館勤務の期間中、2003年に現在の図書館が全館オープンした。M2階の展示ギャラリー、3階の畳コーナー、研究個室、グループ学習室等、当時の大学図書館としては新しい取組みがいくつも見られた画期的な施設で、他大学からの問合せや見学者が相次いだ。

本学図書館にまつわる昔話を少々。それまでの図書館は、現在の協創館（8号館）の位置にあった。カウンターは入口と同じフロアと階段を上がったフロアの2ヵ所あり、図書の貸出・返却とレファレンスを各々担っていた。開館の時間にはグリーグの『朝』が流れていた。なお、旧図書館はその全てを取り壊したわけではなく、現在の図書館の一部は旧図書館を改築したものである。どの部分が新築で、どの部分が旧図書館にあたるのか…是非一度館内をじっくり見て考えていただきたい。

ところで皆さまは、ランガナタン博士（Shiyali R. Ranganathan 1892-1972）をご存じだろうか。図書館学の学習に必ず出てくるのが博士の「図書館学の五法則」で、近代図書館の理念を端的に表明したものとして、広く知られている。その第5法則は「図書館は成長する有機体である」（A Library is a growing organization）で、ランガナタンは図書館を生物になぞらえていることが窺える。この点について、博士自身は次のように解説している。

「第5法則によれば＜図書館は成長する有機体である＞という。成長する有機体のみが生き残るであろうことは、一般に認められた生物学上の事実である。成長することをやめた有機体は、そこで止まり、消滅していくであろう。第5法則は、施設としての図書館が、成長する有機体の属性をすべて有しているという事実にわれわれの注意を喚起する。成長する有機体は、新しい物質を取り入れ、古い物質を捨て去り、大きさを変え、新しい形を整える。（中略）これらの形態の変化すべてを通じて存続してきた一つのことは、生命という一大原理であった。それは図書館についても同じである。（S.R.ランガナタン、森耕一監訳、渡辺信一ほか共訳『図書館学の五法則』日本図書館協会1981 pp.305-306）

司書資格取得のために私が図書館学を学習した際、「五法則」の中でこの第5法則だけは実感を持って理解することができなかったが、いまそれを実感している。この10年の間に図書館は様変わりしていた。ランガナタンの第5法則の通り、まさに「図書館は成長」しているのであった。変わったことの一つは資料である。オンラインジャーナルやe-bookといった、ネットワークを利用した資料が格段に増えた。例えば、以前は本棚にずらりと並んでいた旅行本の定番『地球の歩き方』である。現在の最新版は本棚にはなく、図書館ホームページからe-bookで読むことができる。

M2階にラーニング・コモンズができたことも大きな変化だ。かつてアメリカの大学図書館で、「静寂な図書館にこの空間は何だ!?」と思ったラーニング・コモンズは、あっという間に日本の大学図書館に広まり本学にも設置されるところとなった。図書館ピア・サポーターという学生との協働も始まっていた。ランガナタン博士は、生物でない図書館に敢えて“grow”という動詞を使って「成長する」ことを表現したのであろう。

図書館の建物の外に、この「図書館学の五法則」（英語）を記したサインが設置してある。白いボードに記された“The Five Laws of Library Science”は、図書館と深い関わりがあるだけでなく、成長しようとする私たちを応援してくれている存在でもある。

【参考】
図書館学の5法則
図書は利用するためのものである
いずれの読者にもすべて、その人の図書を
いずれの図書にもすべて、その読者を
図書館利用者の時間を節約せよ
図書館は成長する有機体である
（S.R. ランガナタン 前掲書 P9）

「はじめに」「あとがき」を「ちら見」して、内容を想像する…そんな楽しみも♥

いかがだったでしょうか？皆さんも自分なりの本の探し方を見つけてみてくださいね